

英語【出題意図】

本試験問題は、臨床心理学を専攻しようとする受験生に対し、日本発祥の心理療法に関する学術論文を正確に読解する能力、およびその内容を臨床的文脈に即して適切な日本語に翻訳する能力を確認することを目的としている。具体的には、日本独自の心理療法である「動作法」の歴史、理論、および学生アスリートへの適用を扱った文章を題材とし、以下の能力を総合的に測定する。

1. 専門的知見の理解力: 脳性麻痺児への催眠を用いた訓練から応用分野が広がった動作法の歴史的経緯と、その理論的変遷を正確に把握できているか。
2. 概念把握力と論理的思考: 動作の心理的プロセスや、心身相関のメカニズムを論理的に理解し、説明できるか。
3. 翻訳能力: 臨床心理学的な視点を持って文章を読み解き、適切な用語で表現できるか。